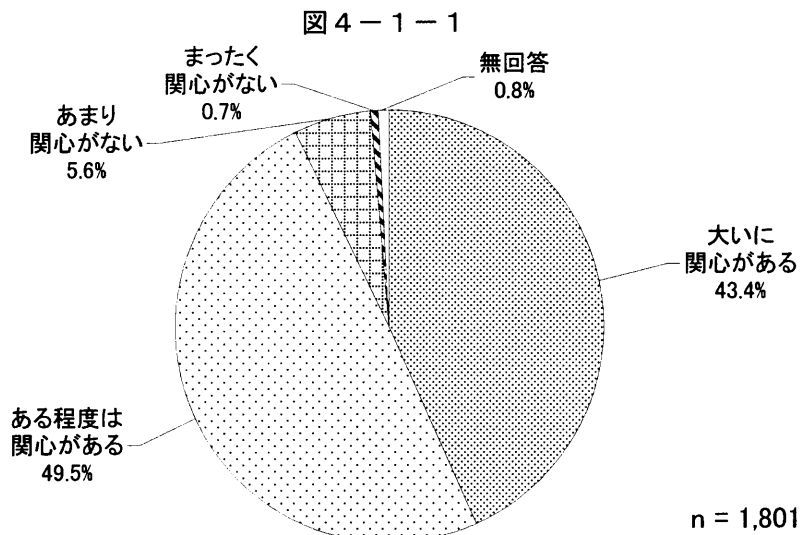


4. 魅力ある都市景観形成に関する意識調査

4-1 景観や風景、街並みへの関心

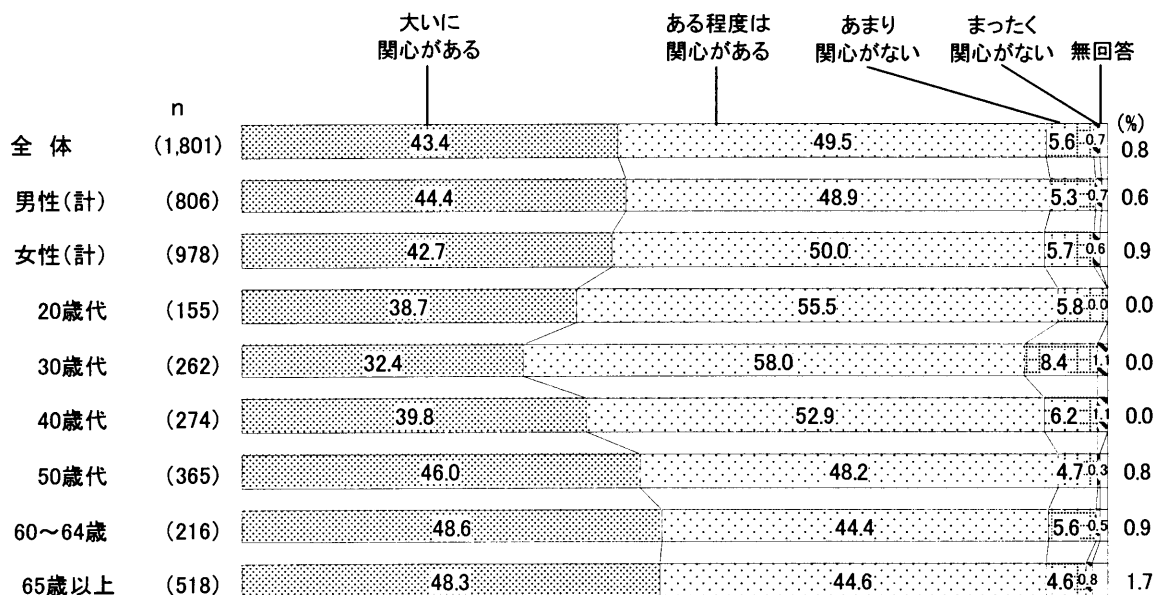
◇『関心がある』が9割強

問4 あなたは、景色や風景、街並みに関心はありますか。(○は1つだけ)



景色や風景、街並みへの関心を聞いたところ、「ある程度は関心がある」が5割近く（49.5%）と最も高く、「大いに関心がある」（43.4%）と合わせた『関心がある』は9割強（92.9%）を占める。また、「あまり関心がない」（5.6%）と「まったく関心がない」（0.7%）を合わせた『関心がない』は1割弱（6.3%）にとどまっている。（図4-1-1）

図4-1-2 景色や風景、街並みへの関心—性別・年齢別

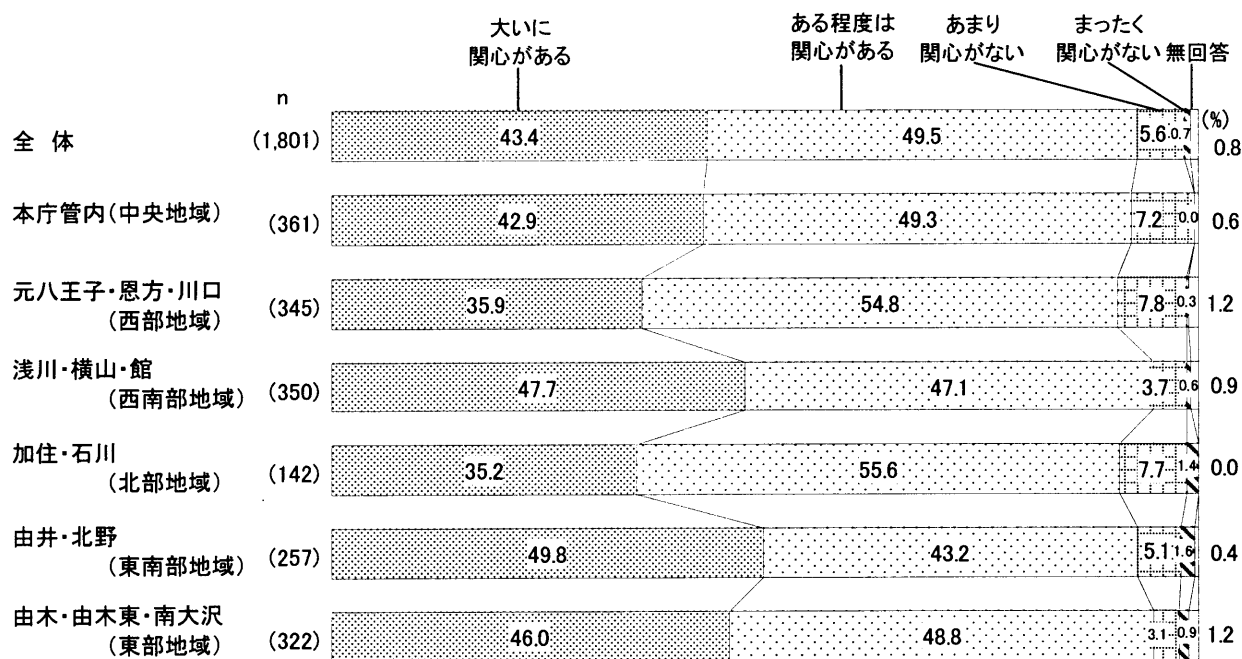


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「大いに関心がある」の割合が高くなっている。

(図4-1-2)

図4-1-3 景色や風景、街並みへの関心—居住地域別



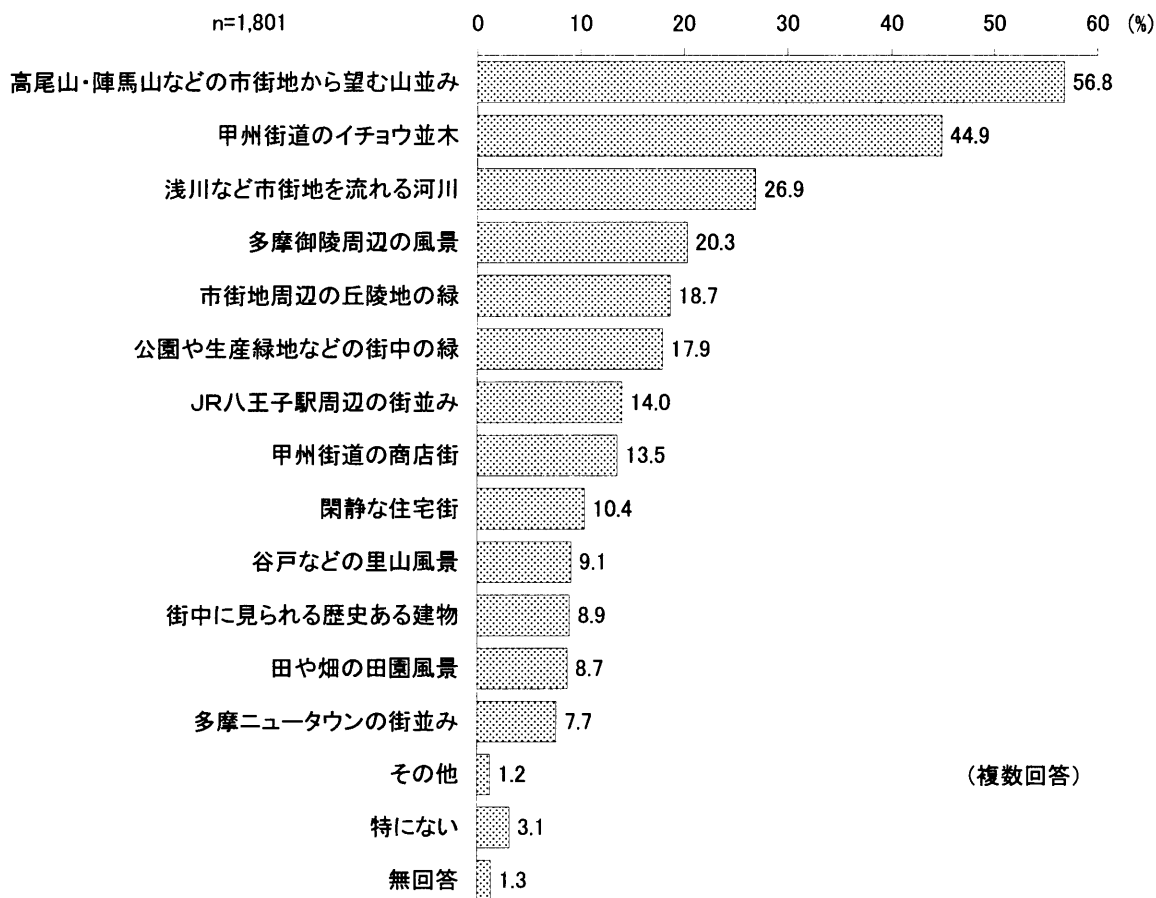
居住地域別にみると、『関心がある』はすべての地域で9割以上を占め高くなっている。また、「大いに関心がある」は由井・北野（東南部地域）が5割近く（49.8%）と最も高く、元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）は3割台半ばと、他の地域が4割を超えているのに比べ、低くなっている。（図4-1-3）

4-2 景観として大切にしたいもの

◇「高尾山・陣馬山などの市街地から望む山並み」が5割台半ば

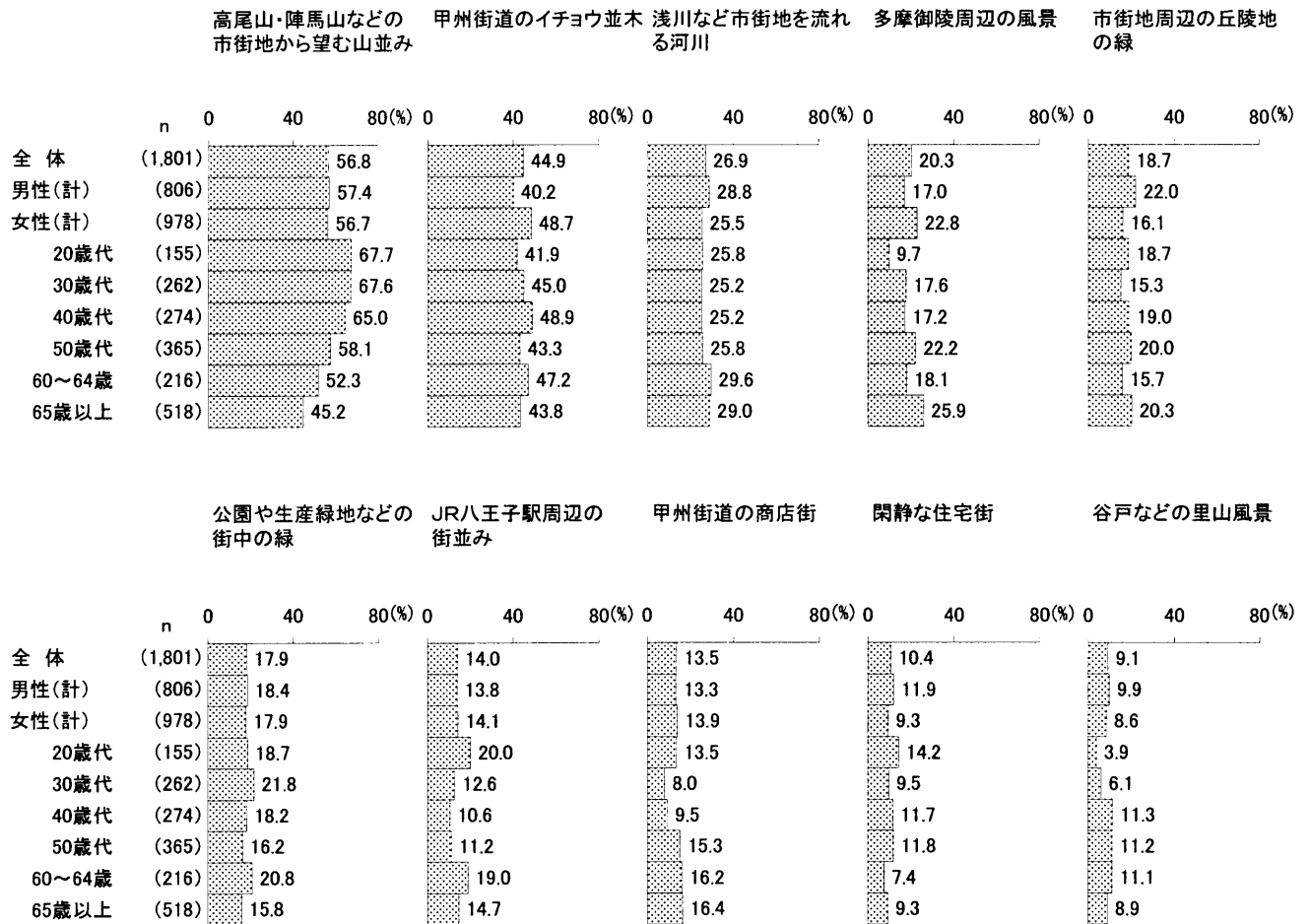
問5 あなたが八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

図4-2-1



八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものを聞いたところ、「高尾山・陣馬山などの市街地から望む山並み」が5割台半ば(56.8%)と最も高く、ついで「甲州街道のイチョウ並木」(44.9%)、「浅川など市街地を流れる河川」(26.9%)、「多摩御陵周辺の風景」(20.3%)と続いている。(図4-2-1)

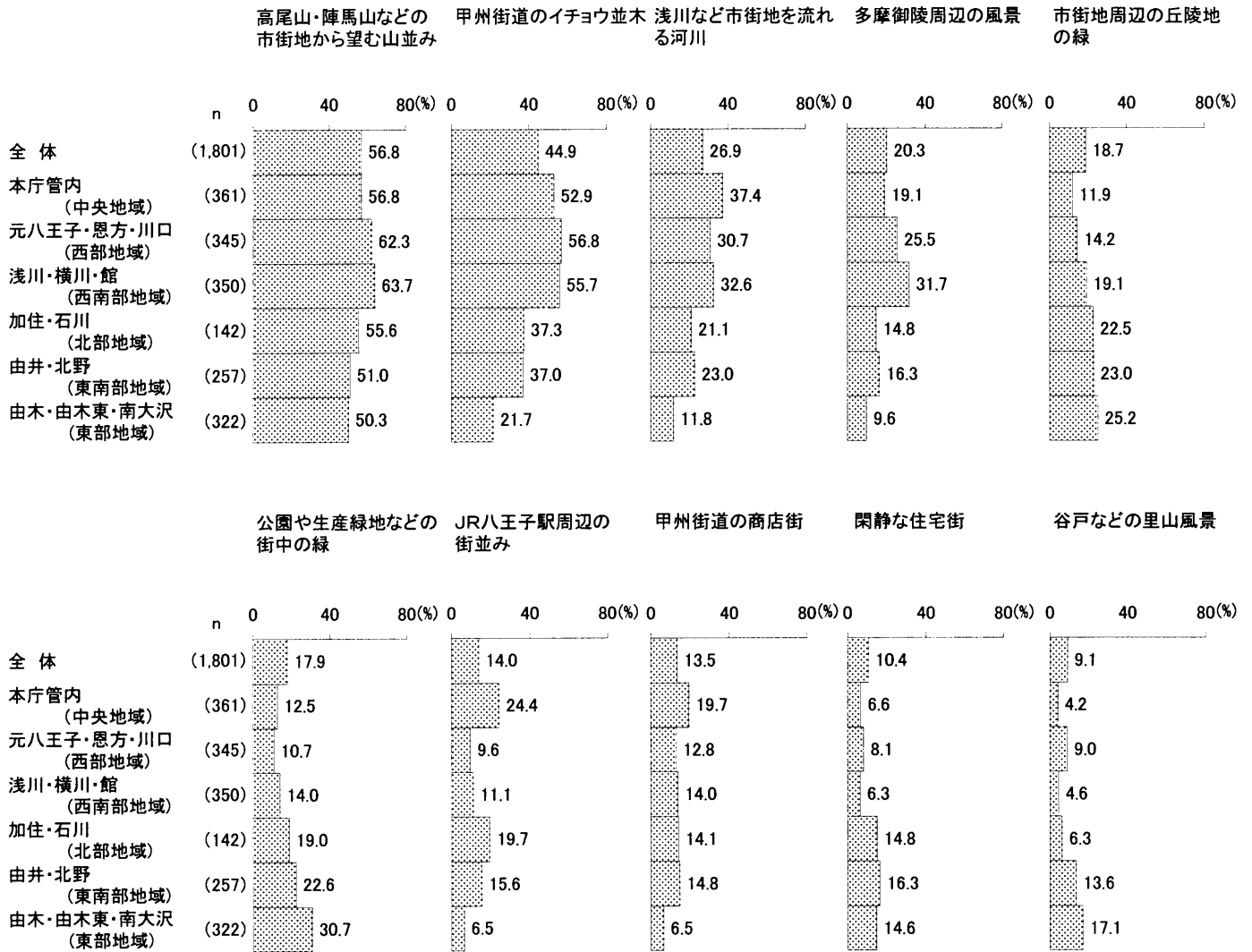
図4-2-2 景観として大切にしたいもの一性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「甲州街道のイチヨウ並木」は女性のほうが8.5ポイント高く、「市街地周辺の丘陵地の緑」は男性のほうが5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「高尾山・陣馬山などの市街地から望む山並み」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図4-2-2)

図4-2-3 景観として大切にしたいもの一居住地域別（上位10項目）

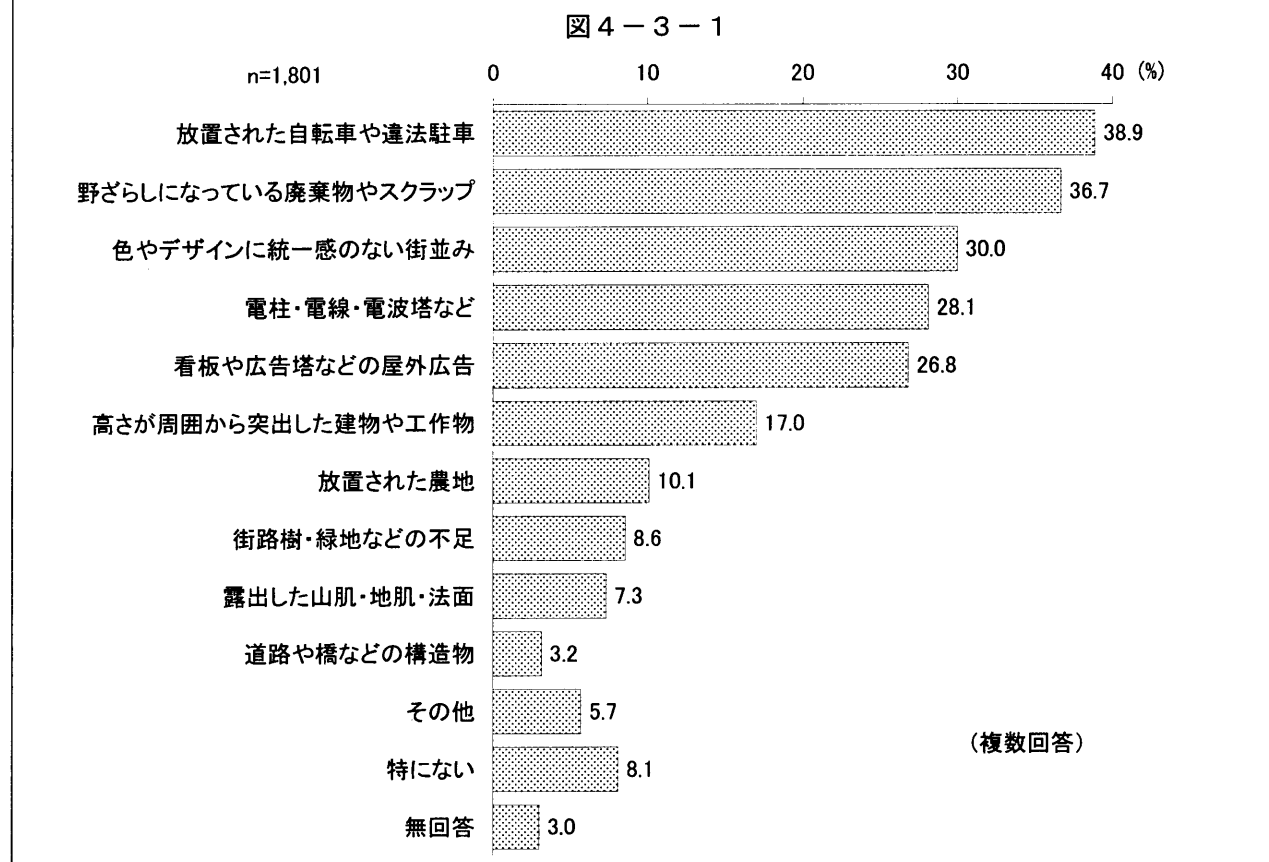


居住地域別にみると、「甲州街道のイチョウ並木」は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）で5割台と比較的高くなっている。（図4-2-3）

4-3 景観を損ねているもの

◇「放置された自転車や違法駐車」が4割弱

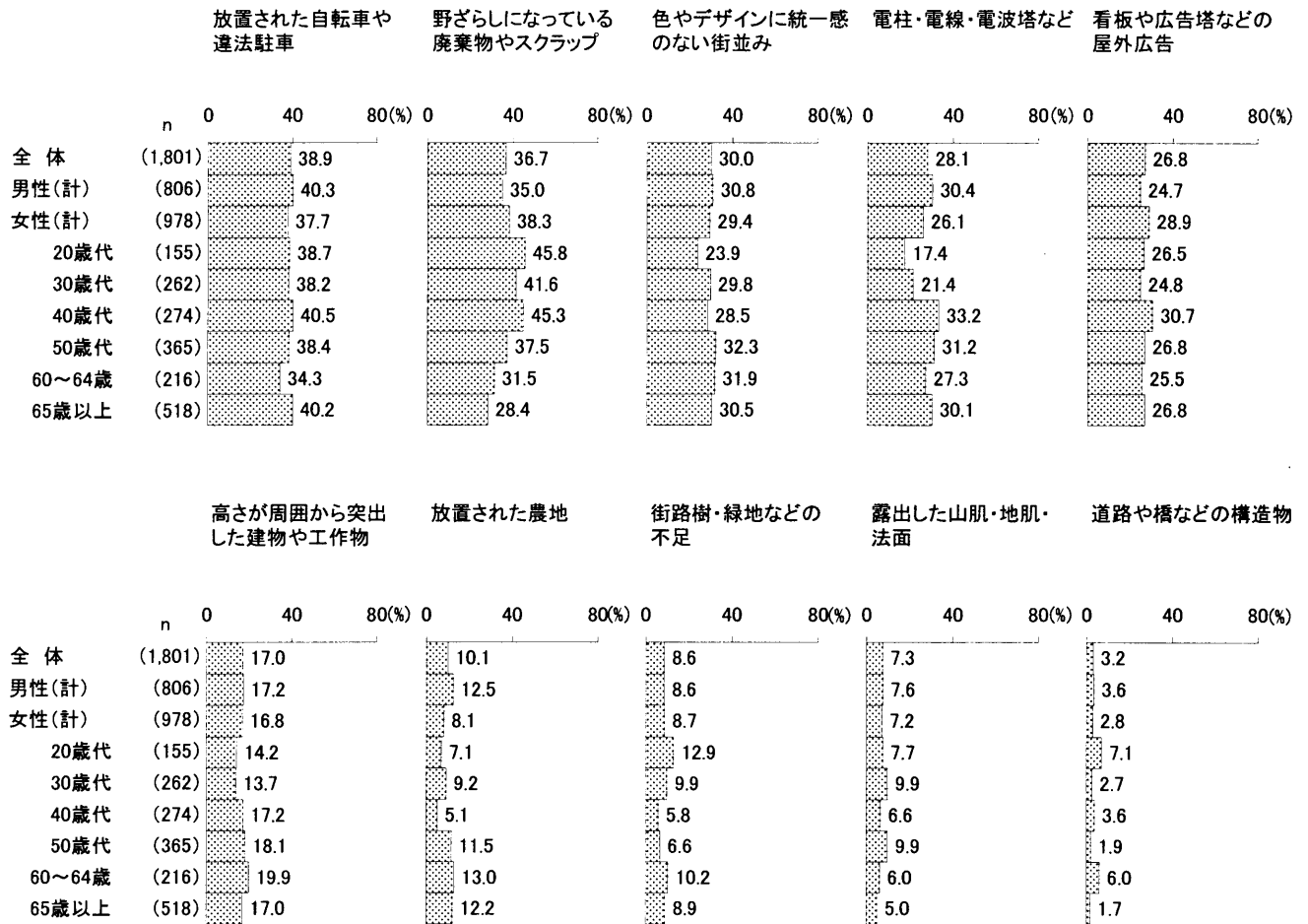
問6 あなたが八王子の景観を損ねていると感じるものは次のどれですか。(〇は3つまで)



八王子の景観を損ねていると感じるものを聞いたところ、「放置された自転車や違法駐車」が4割弱(38.9%)と最も高く、ついで「野ざらしになっている廃棄物やスクラップ」(36.7%)、「色やデザインに統一感のない街並み」(30.0%)、「電柱・電線・電波塔など」(28.1%)の順で続いている。

(図4-3-1)

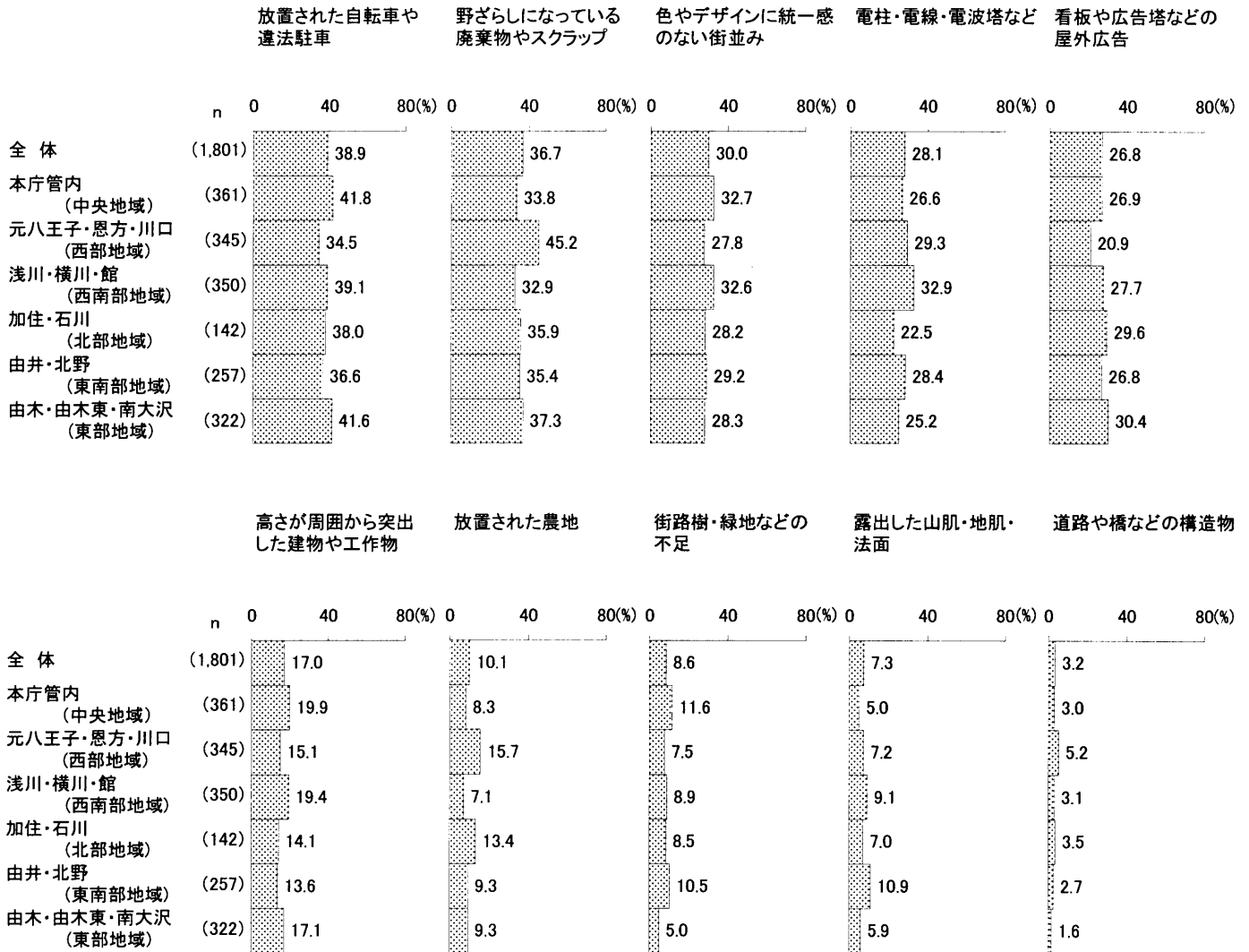
図4-3-2 景観を損ねているもの—性別・年齢別



性別にみると、「看板や広告塔などの屋外広告」は女性のほうが4.2ポイント高く、「放置された農地」は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「野ざらしになっている廃棄物やスクラップ」は概ね年齢が低くなるほど割合が高くなっている。(図4-3-2)

図 4-3-3 景観を損ねているもの一居住地域別



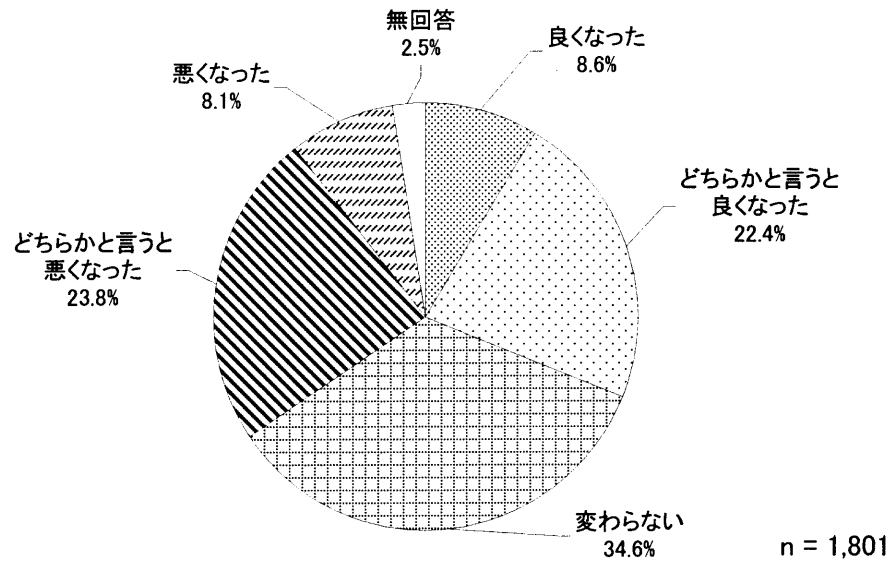
居住地域別にみると、「野ざらしになっている廃棄物やスクラップ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で4割台半ば（45.2%）と比較的割合が高くなっている。（図4-3-3）

4-4 景観の変化

◇「変わらない」が3割台半ば

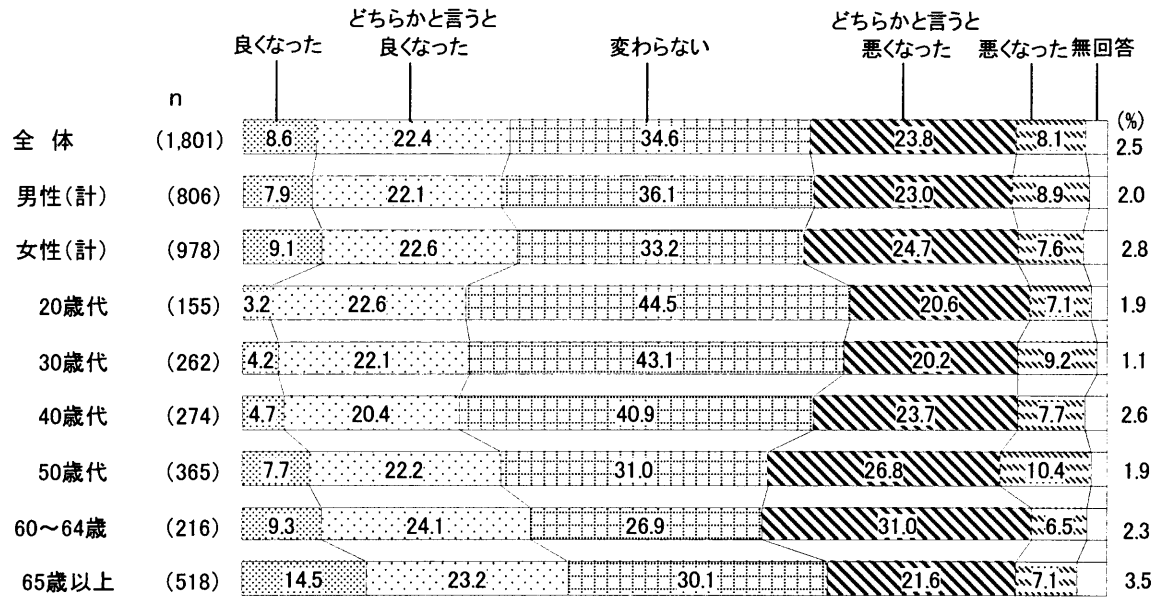
問7 あなたがお住まいの身近な景観は、およそ10年前と比べてどう変わりましたか。(お住まいになって10年以内の方は、住み始めた頃と比べて) (○は1つだけ)

図4-4-1



身近な景観の変化について聞いてみたところ、「変わらない」が3割台半ば(34.6%)と最も高く、「良くなった」(8.6%)と「どちらかと言うと良くなった」(22.4%)を合わせた『良くなった』が31.0%、これに対して「どちらかと言うと悪くなった」(23.8%)と「悪くなった」(8.1%)を合わせた『悪くなった』も31.9%と拮抗している。(図4-4-1)

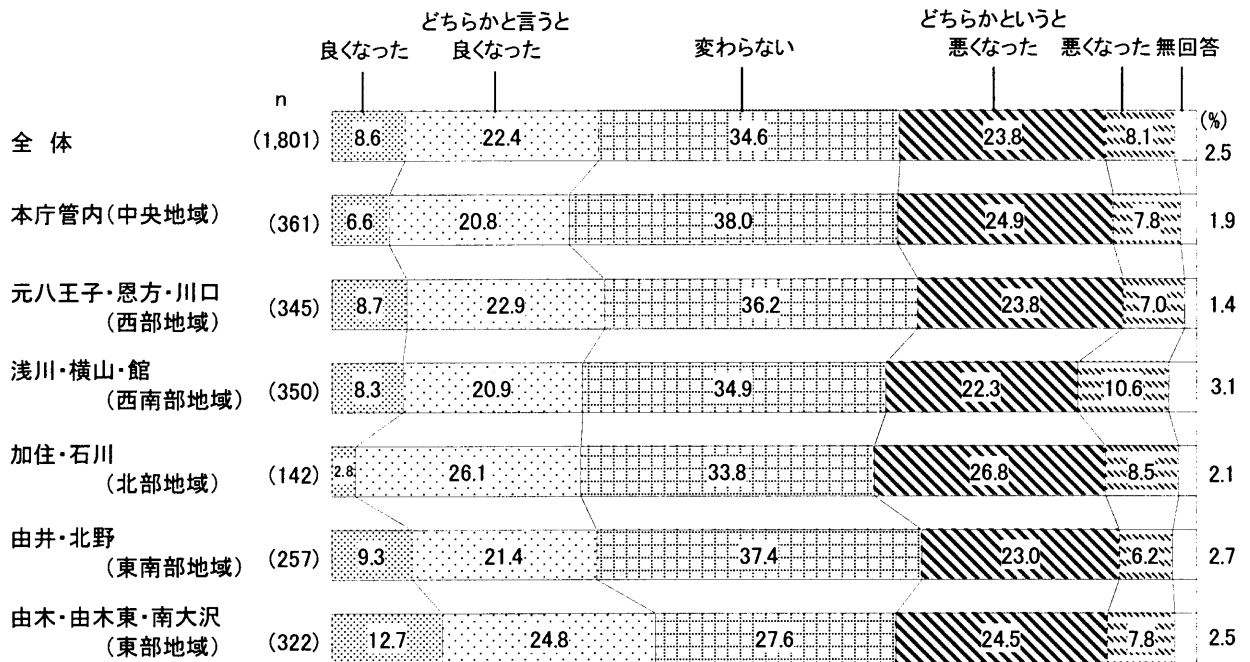
図4-4-2 景観の変化—性別・年齢別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど『良くなった』が増加し、65歳以上では4割弱(37.7%)を占めている。(図4-4-2)

図 4-4-3 景観の変化—居住地域別



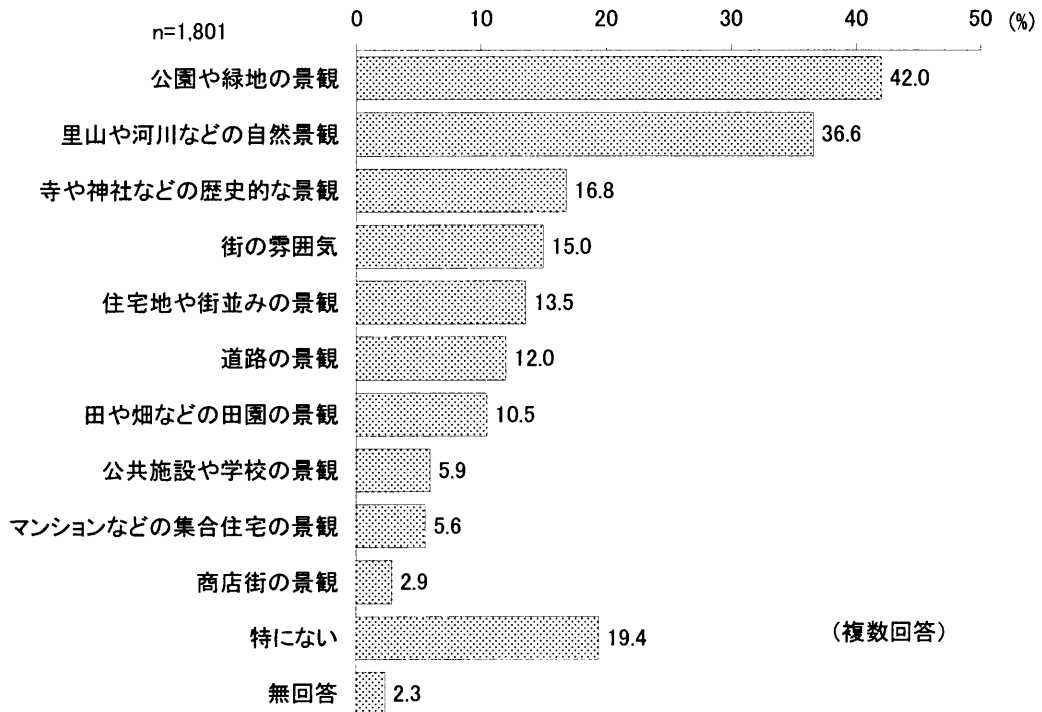
居住地域別にみると、『良くなった』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（37.5%）と最も高く、本庁管内（中央地域）で3割弱（27.4%）と低くなっている。（図4-4-3）

4-5 良いと感じている景観

◇「公園や緑地の景観」「里山や河川などの自然景観」が突出

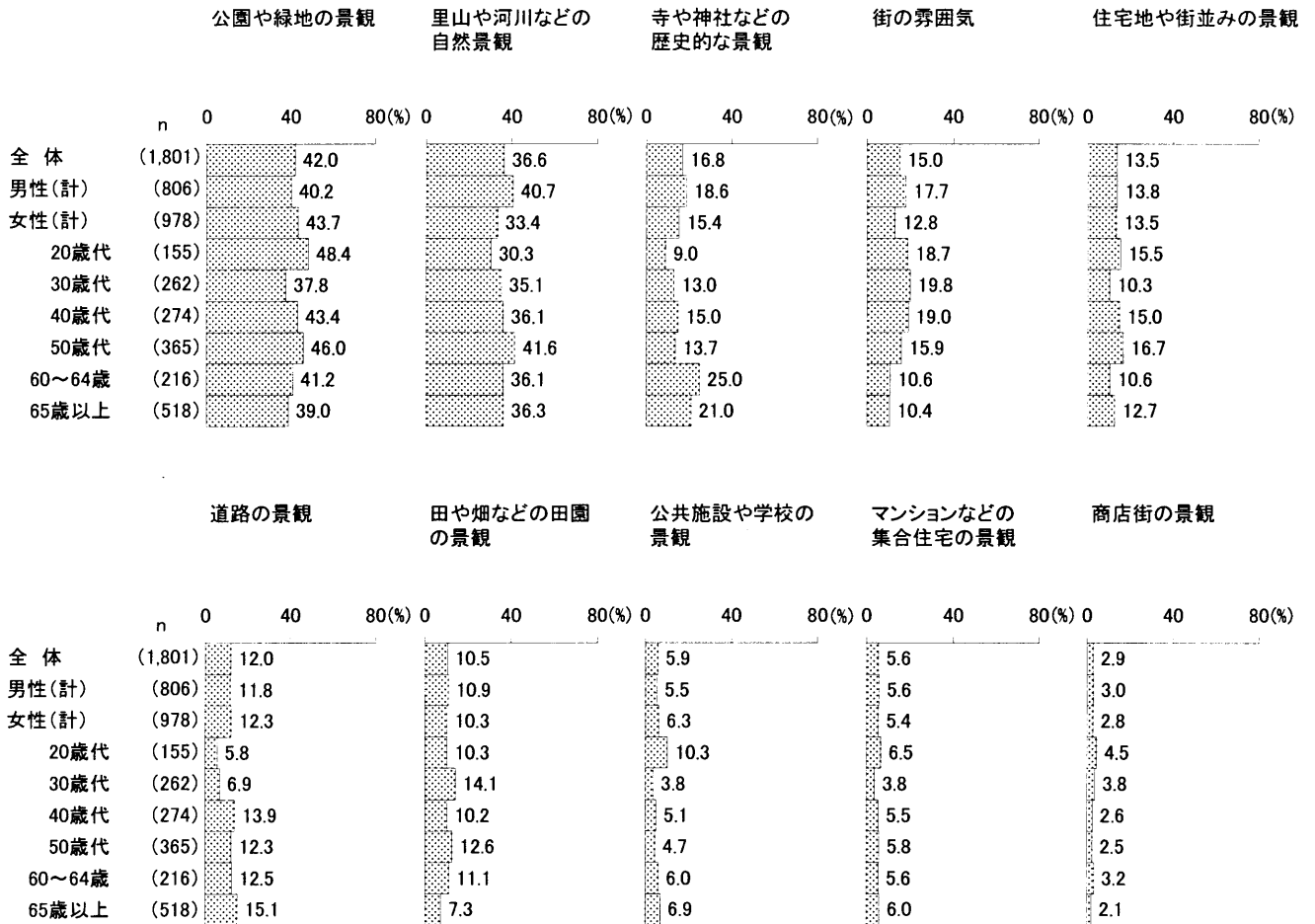
問8 あなたのお住まいの身近な景観について、良いと感じている景観はどれですか。
(○は3つまで)

図4-5-1



良いと感じている景観について聞いたところ、「公園や緑地の景観」が4割強（42.0%）と最も高く、ついで「里山や河川などの自然景観」（36.6%）、「寺や神社などの歴史的な景観」（16.8%）、「街の雰囲気」（15.0%）と続いている。（図4-5-1）

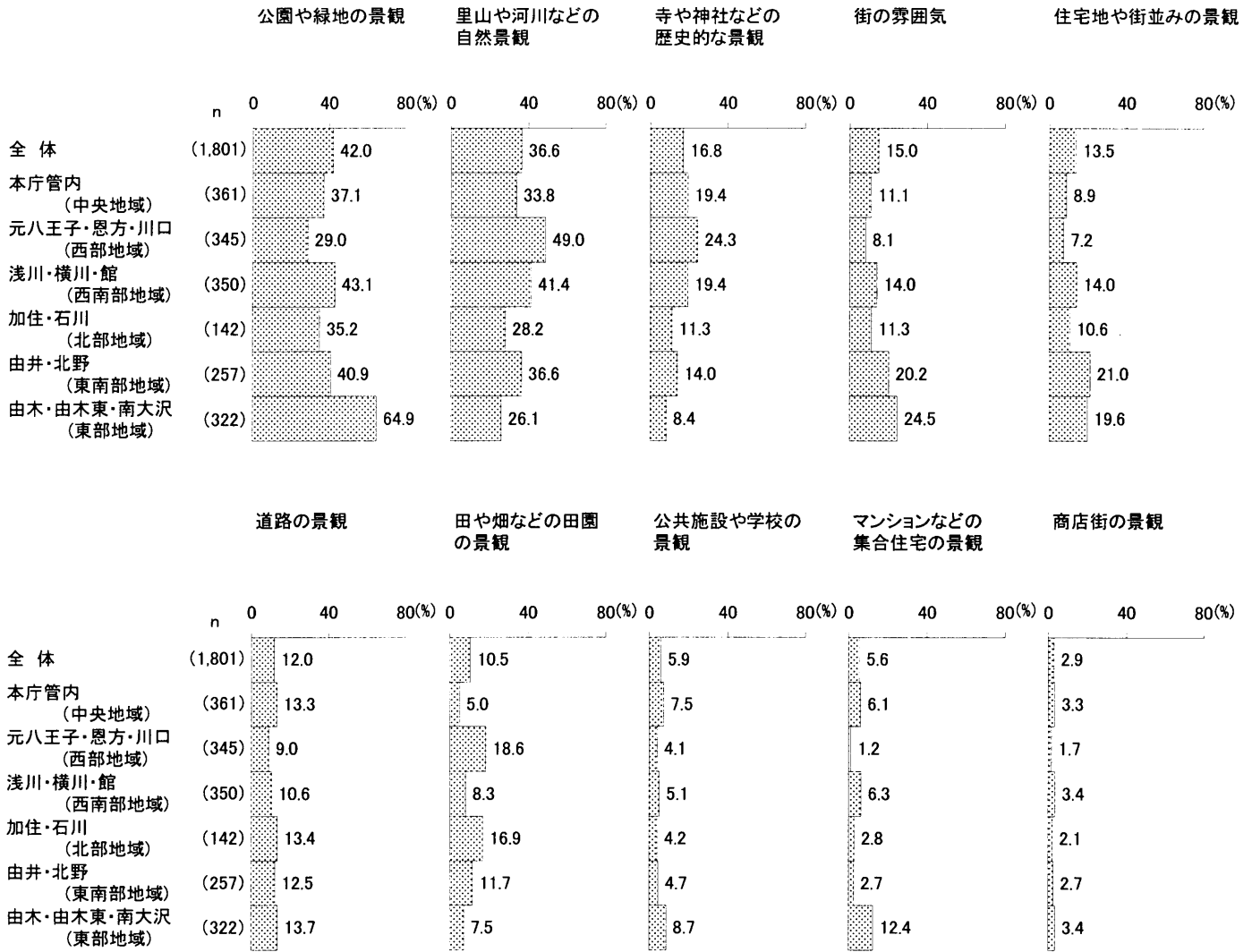
図4-5-2 良いと感じている景観—性別・年齢別



性別にみると、「公園や緑地の景観」は女性のほうが3.5ポイント高く、「里山や河川などの自然景観」は男性のほうが7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「寺や神社などの歴史的な景観」は年齢が高くなるほど割合が高くなり、「街の雰囲気」は年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がある。(図4-5-2)

図4-5-3 良いと感じている景観—居住地域別



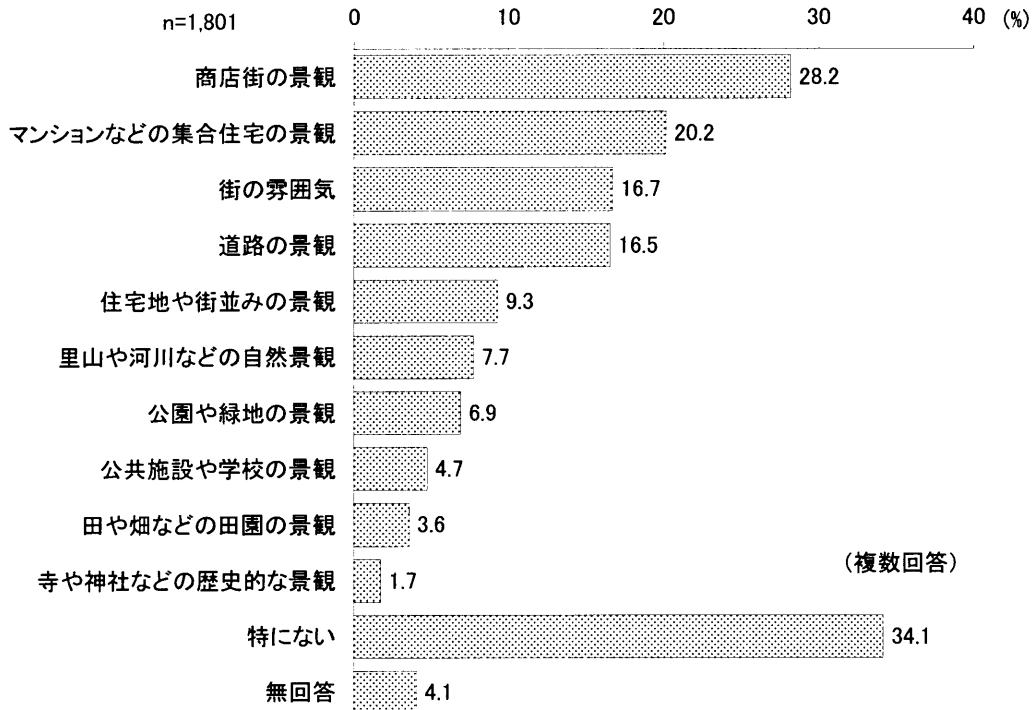
居住地域別にみると、「公園や緑地の景観」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割台半ば（64.9%）、「里山や河川などの自然景観」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で5割近く（49.0%）と高くなっている。（図4-5-3）

4-6 良くないと感じている景観

◇「商店街の景観」が3割近くで突出

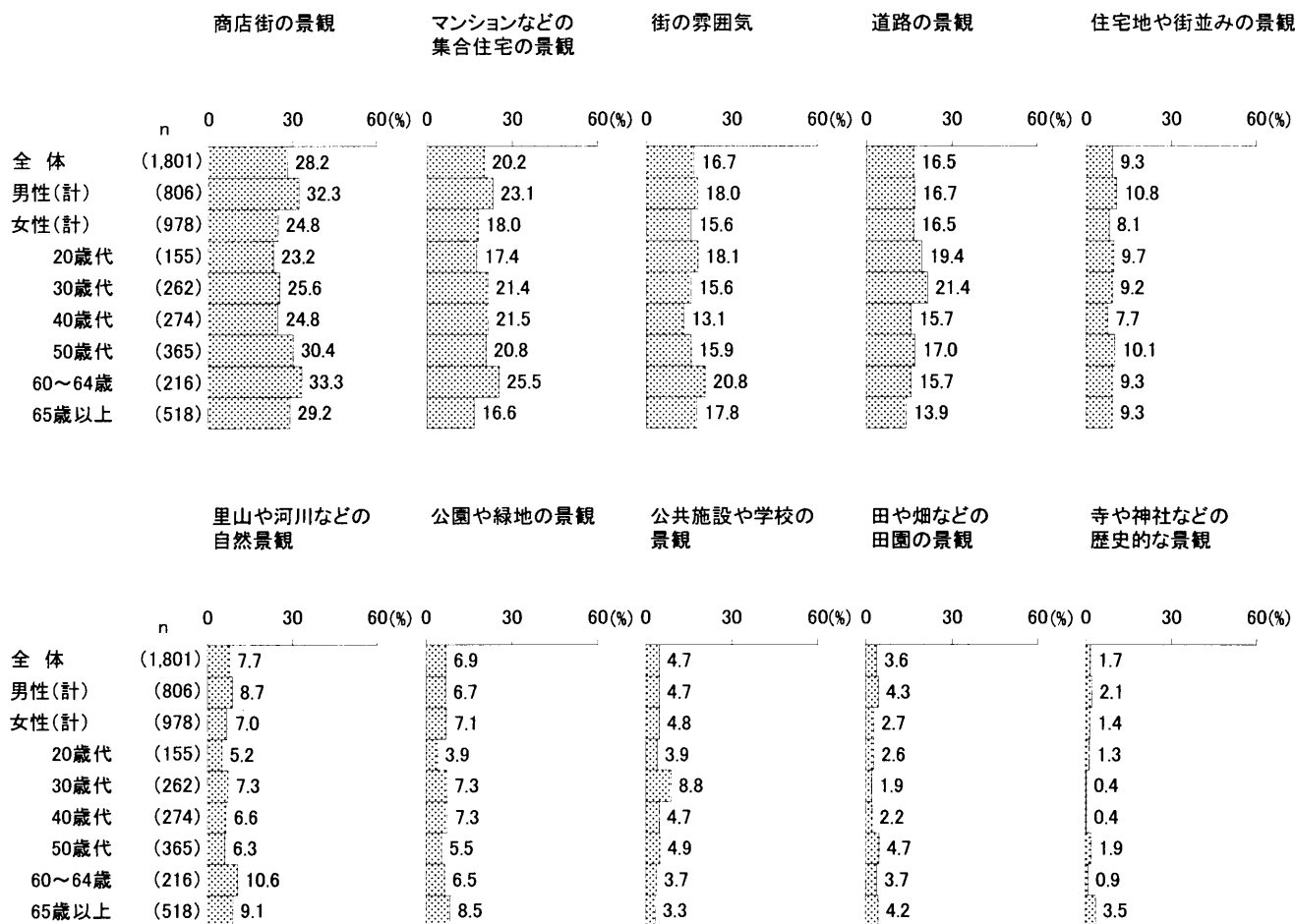
問9 あなたのお住まいの身近な景観について、良くないと感じている景観はどれですか。
(○は3つまで)

図4-6-1



良くないと感じている景観について聞いたところ、「商店街の景観」が3割近く (28.2%) と最も高く、ついで「マンションなどの集合住宅の景観」(20.2%)、「街の雰囲気」(16.7%)、「道路の景観」(16.5%) と続いている。(図4-6-1)

図4-6-2 良くないと感じている景観—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「商店街の景観」で7.5ポイント、「マンションなどの集合住宅の景観」で5.1ポイント高くなっている。

年齢別には大きな差はみられない。(図4-6-2)

